

# 2022 環境報告書

ENVIRONMENTAL REPORT

 東京鉄鋼グループ  
TTK



# 目次



はじめに	…………… P 2
社長メッセージ	…………… P 3
1. 会社概要	…………… P 5
(1) 基本情報	…………… P 5
(2) 拠点一覧	…………… P 5
(3) 沿革	…………… P 6
(4) 事業内容	…………… P 7
(5) 主要な経営指標等の推移	…………… P 8
(6) 事業紹介	…………… P 9
(7) バリューチェーン	…………… P11
(8) 機会とリスクと当社の目指す姿	…………… P12
2. コーポレート・ガバナンス等の状況	…………… P13
(1) コーポレート・ガバナンス	…………… P13
(2) リスク管理体制	…………… P14
3. 環境への取り組み	…………… P15
(1) 取組方針	…………… P15
(2) コミットメント	…………… P15
(3) サステナビリティ・ビジョン	…………… P16
(4) 環境マネジメント体制	…………… P19
(5) 環境マネジメントシステム	…………… P19
(6) 環境目標と実績	…………… P20
(7) 主な実績評価指標	…………… P21
(8) 環境負荷低減における取り組み	…………… P24
(9) 社会貢献活動	…………… P28

# はじめに

---

## 【編成方針】

- 「環境報告書2022」は、東京鉄鋼グループ(東京鉄鋼および関係会社)の環境活動と社会貢献活動について、全てのステークホルダーの皆様に分かりやすく報告することを目的として作成しました。

## 【報告対象組織】

- 報告対象組織は当社および連結の範囲に含まれる全グループ会社です。
- なお、報告書内において報告対象組織が異なる場合は、その範囲を記載しています。

## 【報告対象期間】

- 報告対象期間は2021年4月から2022年3月の1年間です。
- なお、上記期間を原則としていますが、対象期間以前からの取り組みや直近の活動状況も一部含みます。

## 【参考ガイドライン等】

- 環境省「環境報告ガイドライン2018年版」

## 【お問い合わせ先】

- 東京鉄鋼株式会社 経営企画部
- T E L 03-5276-9702
- メールアドレス [kikaku@tokyotekko.co.jp](mailto:kikaku@tokyotekko.co.jp)
- ホームページ <https://www.tokyotekko.co.jp>



# 社長メッセージ

---

## 東京鉄鋼について

---

東京鉄鋼は、市中より発生する鉄スクラップを主原料とし製品へと変える『鉄資源のリサイクル』と、医療用廃棄物や廃自動車、廃家電という『廃棄物リサイクル』を通して、わが国の循環型社会構築に貢献する企業であります。

主力製品の鉄筋コンクリート用棒鋼の『ネジテツコン』は表面がネジ節形状の鉄筋であり、専用の継手を使用することで、機械的に鉄筋同士を接合することが出来ます。悪天候であっても施工が可能であることや、専用の知識や技術がなくても施工が可能であるため、建築業界に革新をもたらし、省力化や工期の短縮によりコスト削減に寄与しております。

また、東京鉄鋼では建設現場の省力化に向けた「ソリューションを提供できる会社」でもあります。顧客の設計部門向けに技術提案を行い、建設トータルコストを削減する。設計初期段階から建設プロジェクトに関与できることで、施工する建築物に最適な工法と建設資材の提案が可能になります。東京鉄鋼が提供しているものは、建築現場での「省力化ソリューション」です。

リサイクル部門では、廃棄物として納入された廃自動車や廃家電を破碎・分別した後、電気炉や炭化炉の設備を用いて、処理後の廃棄物を極力発生させない社内循環完結の処理スキームが構築されております。医療用廃棄物は電気炉に直接投入され無害化熔融処理と様々なリサイクル方法を有しております。

## 外部環境と成長戦略

---

足許では、ロシア・ウクライナ問題、新型コロナウイルス感染症拡大、主要国の利上げによる通貨安などにより、主原料である鉄スクラッ

プは価格の乱高下を引き起こし、また、電気・ガス等のエネルギーの急激な価格上昇、副原料・副資材は価格が高止まりしていることで製造コストの上昇は否めなく、大幅に事業活動へ影響を及ぼしている状況です。今後も先行き不透明な状況は続くと思われ、更なるコストアップの脅威が予測されます。

厳しくなる環境下でも、当社は営業部門では、中期経営計画で掲げている「高付加価値製品の注力加速」、「省力化工法の提案」を軸とし、生産部門では「ネジテツコンの安定生産と技術力の向上」リサイクル部門では「サステナブルへ貢献する循環型リサイクル工場の構築」により、収益力の強化に努めます。

## 持続可能な社会の実現に向けて

---

温室効果ガスの削減に向けて、日本国内でも2020年10月に政府より、2050年における国内の温室効果ガスの排出量をゼロとするカーボンニュートラルが宣言され、脱炭素社会への動きがより一層加速化されました。鉄鋼業界は温室効果ガスの排出量が日本全体の約15%を締めることから、その削減に関する活動の動向が注目されております。

当社でも工場を中心として、日々エネルギー使用量の低減を目的とした温室効果ガス排出量の削減に取り組んでおり、行動計画や目標数値等を外部へ向けて発信していけるよう、温室効果ガス削減のロードマップの作成を計画したいと思います。従来の発想や方法に縛られず、様々な観点から温室効果ガス削減にアプローチ出来たらと考えております。



## おわりに

---

『建設業へのエンジニアリングサービス』、『鉄資源のリサイクル』と『廃棄物リサイクル』  
東京鉄鋼にしかない独自の強みを生かし、建築業の発展に寄与することを大きな柱とし、循環型  
社会に貢献出来る企業を目指して参ります。

2023年2月

東京鉄鋼株式会社

代表取締役社長

吉原每文

# 1. 会社概要

## (1) 基本情報

会社名	東京鉄鋼株式会社				
本店所在地	栃木県小山市横倉新田520番地				
会社設立	1939年6月23日	資本金	58億3千9百万円	従業員	841名 (連結 2022年3月31日現在)

## (2) 拠点一覧

事業所	東京本社	〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング10階・11階・12階 TEL:03-5276-9700 FAX:03-5276-9711
	大阪支店	〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋3-3-13 ニッセイ淀屋橋イースト13階 TEL:06-4707-1450 FAX:06-4707-1454
	名古屋営業所	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-5-31 オーキッドプレイス名古屋錦ビル3階 TEL:052-962-3530 FAX:052-962-3536
	東北営業所	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-1-1 オークツリー一番町3階 TEL:022-222-0665 FAX:022-222-0667
	福岡営業所	〒812-0039 福岡県福岡市博多区冷泉町10-23 博多冷泉町ビル9階 TEL:092-282-2228 FAX:092-282-2229
	札幌営業所	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西3-3 札幌MNビル10階 TEL:011-206-6477 FAX:011-206-6466
	本社工場	〒323-0819 栃木県小山市横倉新田520 TEL:0285-27-4411 FAX:0285-31-1004
	総合加工センター	〒323-0813 栃木県小山市横倉1108 TEL:0285-27-4480 FAX:0285-27-4490
	八戸工場	〒039-1161 青森県八戸市河原木海岸4-11 TEL:0178-28-9191 FAX:0178-28-6565
	ティーティーケイ コリア株式会社	〒135-918 韓国ソウル市江南区テヘラン路322 韓信インターバレー24 西館1708号 TEL:82-2-2183-0692 FAX:82-2-2183-0698
グループ会社	トーテツ興運 株式会社	〒323-0813 栃木県小山市横倉590-2 TEL:0285-27-4421 FAX:0285-27-4425
	トーテツ産業 株式会社	〒323-0813 栃木県小山市大字横倉662番地 TEL:0285-27-2339 FAX:0285-27-3430
	東京鉄鋼土木 株式会社	東京都千代田区富士見二丁目7番2号 ステージビルディング10階 TEL:03-3230-2741 FAX:03-3230-2844
	トーテツメンテナンス株 式会社	〒323-0813 栃木県小山市横倉1108 TEL:0285-28-1621 FAX:0285-28-2301
	株式会社 関東メタル	〒306-0432 茨城県猿島郡境町大字下小橋867 TEL:0280-86-7401 FAX:0280-86-7407
	トーテツ資源 株式会社	〒039-1161 青森県八戸市河原木海岸17-8 TEL:0178-28-5151 FAX:0178-28-5190
共同販売会社	東北デーバー・ スチール株式会社	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-1-2 NMF仙台青葉通りビル8階 TEL:022-222-0368 FAX:022-225-6380
	東京デーバー 販売株式会社	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビルディング5階 TEL:03-5244-5908 FAX:03-5244-5946

### (3) 沿革

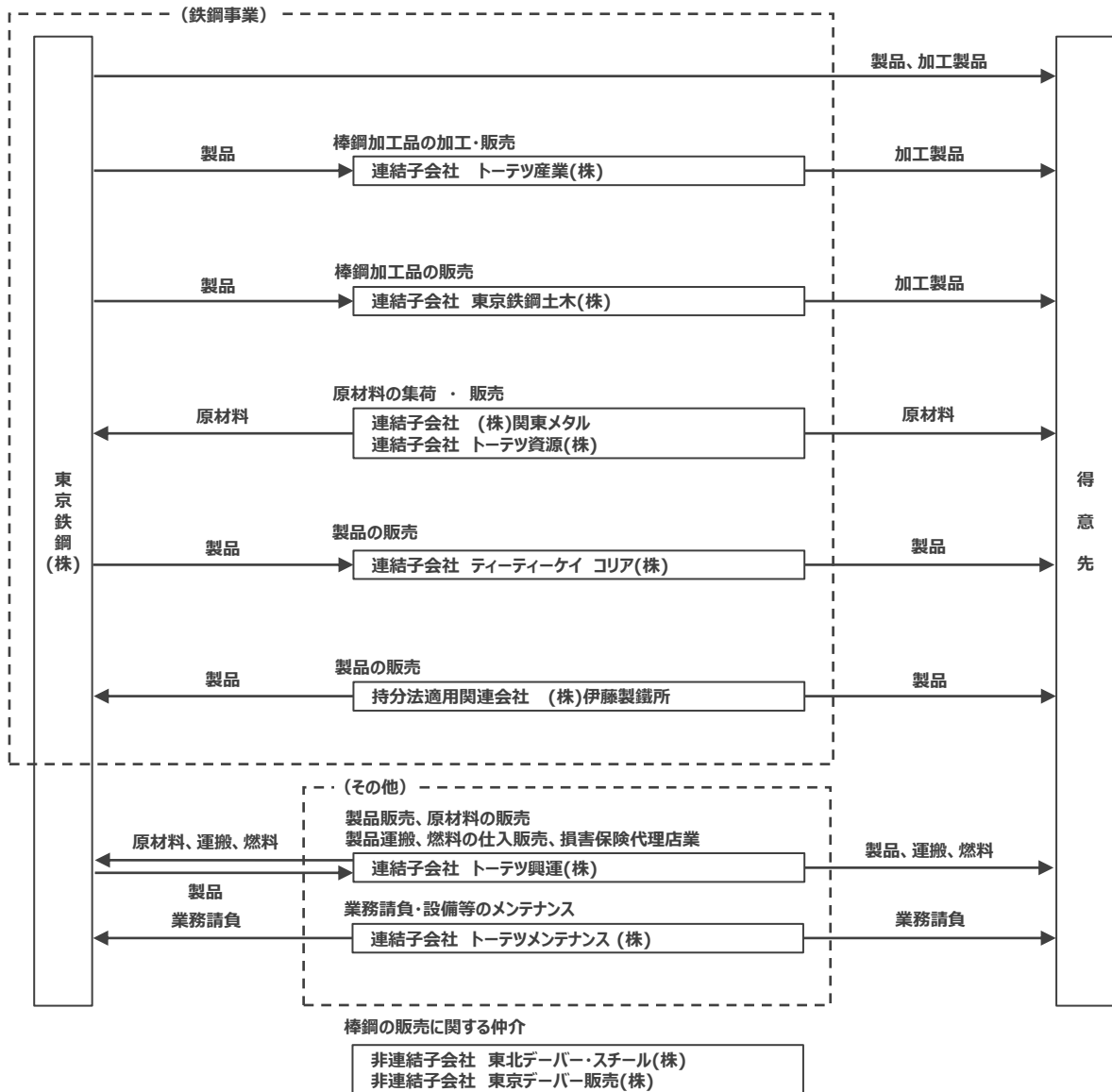
---

- 1939年 6月 東京都足立区に東京鐵鋼株式会社を設立、銑鉄及び鑄鉄の製造を開始
- 1959年 4月 普通鋼鋼塊の製造を開始
- 1969年 3月 栃木県小山市に小山工場製鋼工場を完成
- 1969年 5月 小山工場圧延工場完成、棒鋼の生産を開始
- 1970年10月 株式会社武蔵製鋼所（現・東京鐵鋼土木株式会社）の経営権を取得（現・連結子会社）
- 1971年 6月 東京証券取引所の市場第二部に上場
- 1973年 4月 東京都足立区にトーテツ興運株式会社を設立（現・連結子会社）
- 1974年 4月 東京証券取引所の市場第一部に上場
- 1976年 2月 青森県八戸市に八戸工場製鋼工場を完成
- 1978年 3月 本店を栃木県小山市横倉新田520番地に移転し、小山工場を本社工場と改称
- 1979年 3月 茨城県猿島郡境町に境事業所を完成し銑鉄及び鑄鉄品の製造開始
- 1980年 7月 栃木県小山市にトーテツ産業株式会社を設立（現・連結子会社）
- 1981年 9月 八戸工場圧延工場を完成、棒鋼の生産を開始
- 1983年 2月 ネジフシ鉄筋「ネジテツコン」を用いた継手工法について（財）日本建築センターの評定を取得（評定No.BCJ-C1039）
- 1989年 3月 栃木県小山市にトーテツメンテナンス株式会社を設立（現・連結子会社）
- 1989年 8月 一般建設業の許可を取得「栃木県知事許可（般-1）第16576号」
- 1990年10月 株式会社シントーの経営権を取得
- 1991年 3月 栃木県小山市に総合加工センターを完成
- 1993年 9月 茨城県猿島郡境町に株式会社関東メタルを設立（現・連結子会社）
- 1996年 5月 本社工場、八戸事業所でISOの品質マネジメントシステムの認証を取得「ISO9002/JISZ9902」
- 1996年 7月 トーテツ興運株式会社本店を栃木県小山市に移転
- 1999年 2月 東京都新宿区に東京本社を移転
- 2001年12月 青森県八戸市に東北東京鐵鋼株式会社を設立
- 2002年 7月 有限会社吉栄の出資総持分を取得し完全子会社化
- 2004年 9月 東北東京鐵鋼株式会社でISOの環境マネジメントシステムの認証を取得「ISO14001/JISQ14001」
- 2005年 3月 東北東京鐵鋼株式会社が、株式会社伊藤製鐵所と共同で、東北デーバー・スチール株式会社を設立（2005年 4月営業開始）
- 2005年 9月 東京鐵鋼株式会社（小山地区）で、ISOの環境マネジメントシステムの認証を取得「ISO14001/JISQ14001」
- 2007年10月 東北東京鐵鋼株式会社と株式会社シントーが合併（存続会社 東北東京鐵鋼株式会社）
- 2008年 4月 有限会社吉栄を吸収合併
- 2009年 9月 東京都千代田区に東京本社を移転
- 2013年10月 韓国ソウル市にティーティーケイ コリア株式会社を設立（現・連結子会社）
- 2014年12月 青森県八戸市にトーテツ資源株式会社を設立（現・連結子会社）
- 2015年 4月 東北東京鐵鋼株式会社を吸収合併
- 2018年 4月 株式会社伊藤製鐵所と資本業務提携を行い、持分法適用関連会社化
- 2018年10月 株式会社伊藤製鐵所と共同で、東京デーバー販売株式会社を設立（2019年 2月営業開始）
- 2022年 4月 東京証券取引所市場区分再編に伴い、プライム市場へ移行

## (4) 事業内容

当社グループは、当社、連結子会社7社、非連結子会社2社及び持分法適用関連会社1社で構成され、棒鋼及び加工の製造販売を主な事業の内容としております。

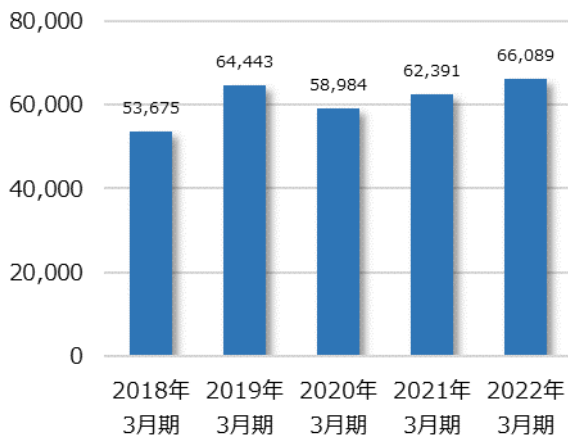
- 鉄鋼事業 …… JIS規格による小形棒鋼及び鉄筋の機械式継手の製造・販売を行っております。
- その他 …… 鉄鋼事業に含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、設備のメンテナンス事業等を含んでおります。



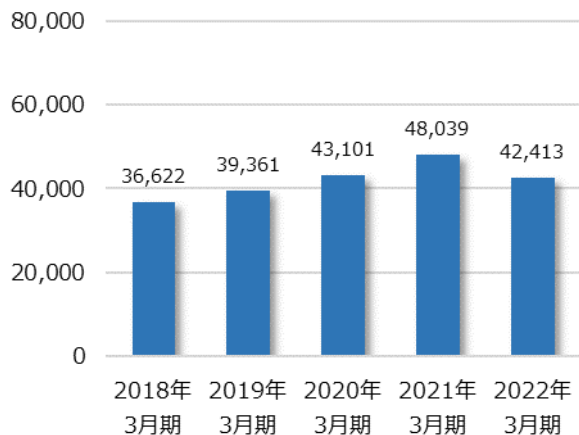


## (5) 主要な経営指標等の推移 (連結)

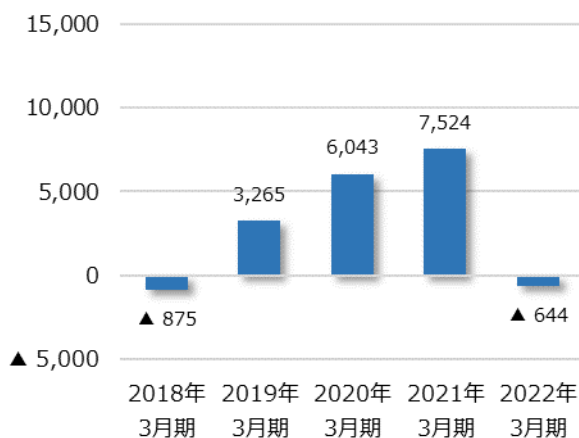
### 売上高 [単位：百万円]



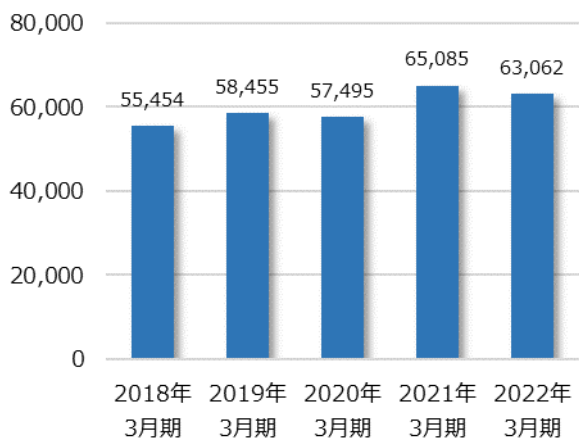
### 純資産 [単位：百万円]



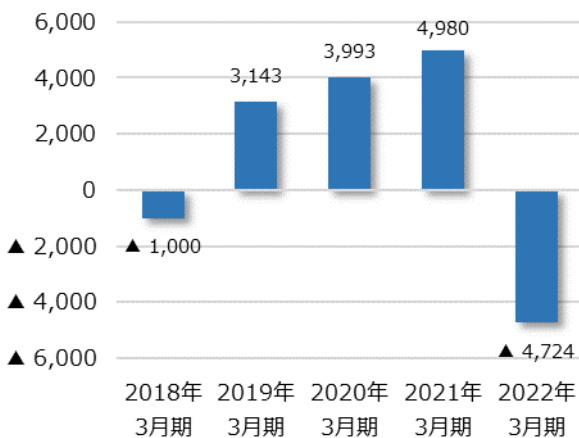
### 経常利益 [単位：百万円]



### 総資産 [単位：百万円]



### 親会社株主に帰属する当期純利益 [単位：百万円]

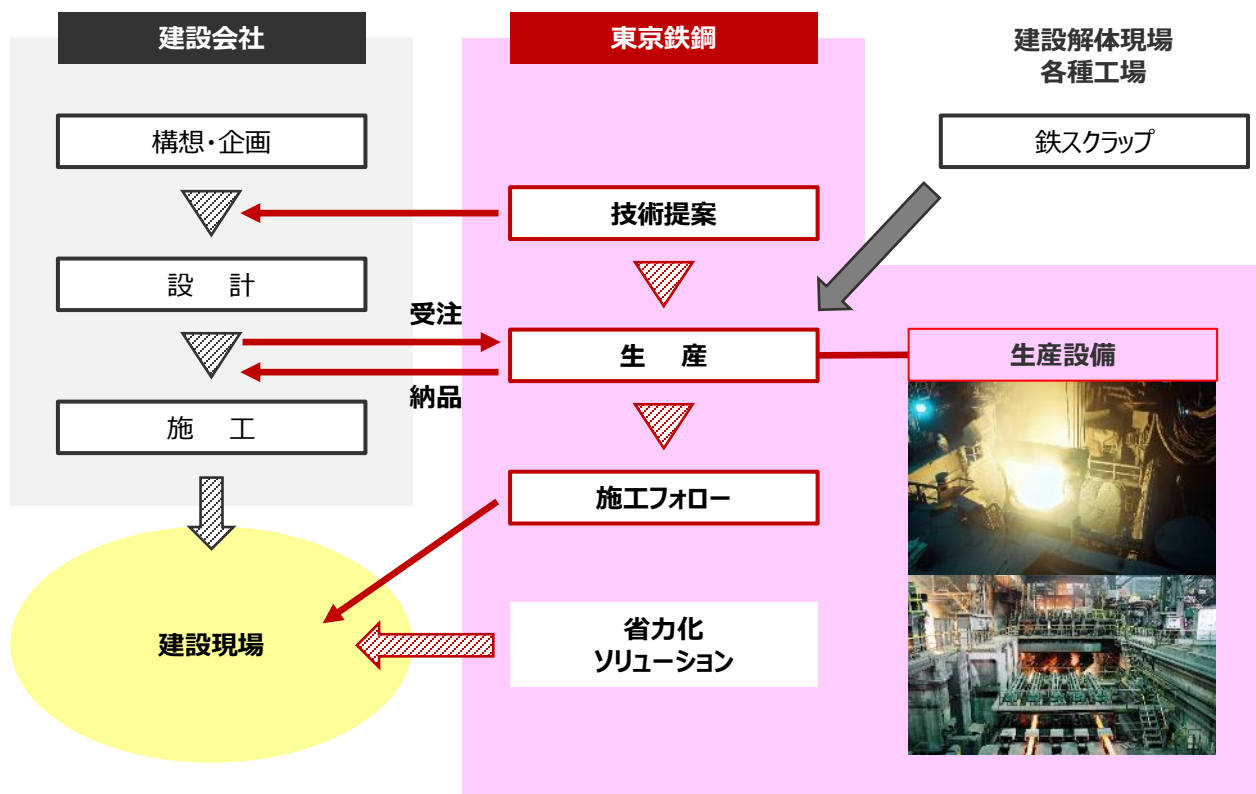


## (6) 事業紹介

### 鉄鋼事業

高付加価値製品と工法で、建設業の省力化に貢献

鉄鋼事業では超高層建築を支えられるネジテツコン・継手などの各種製品、施工の省力化ソリューションを通じて、開発から製造、品質管理、提案営業、施工フォローに至るまで、お客様の課題をトータルでサポートしています。



### 主な製品



ネジテツコン



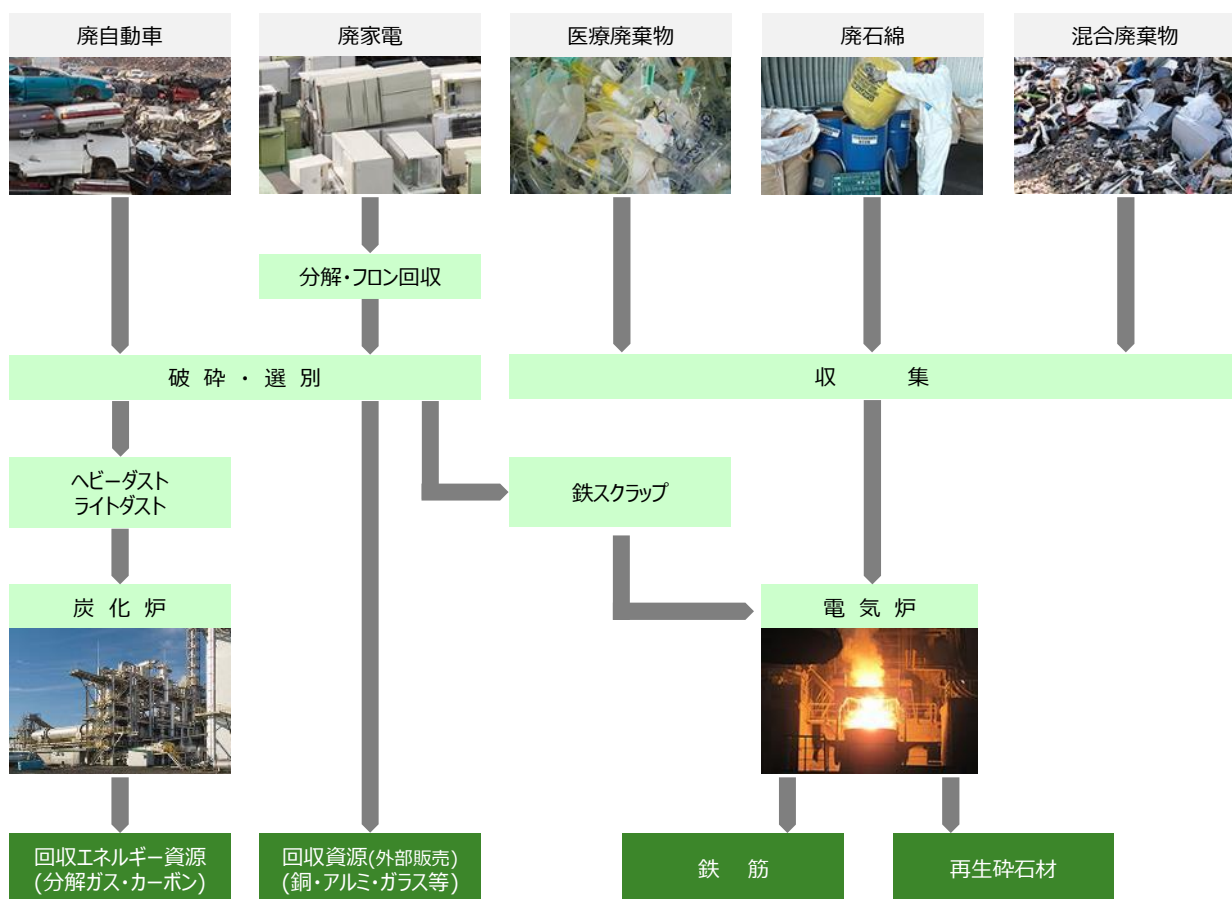
エースジョイント



プレートナット

東京鉄鋼では、八戸工場を中核にして、環境リサイクル事業を展開しております。一つが製鋼用電気炉を活用して有害な産業廃棄物を無害化する分野であり、もう一つが、廃自動車や廃家電などの廃棄物を破砕・分別して、鉄などの有用資源を回収、プラスチックなどは炭化処理し、燃料として再利用する分野です。

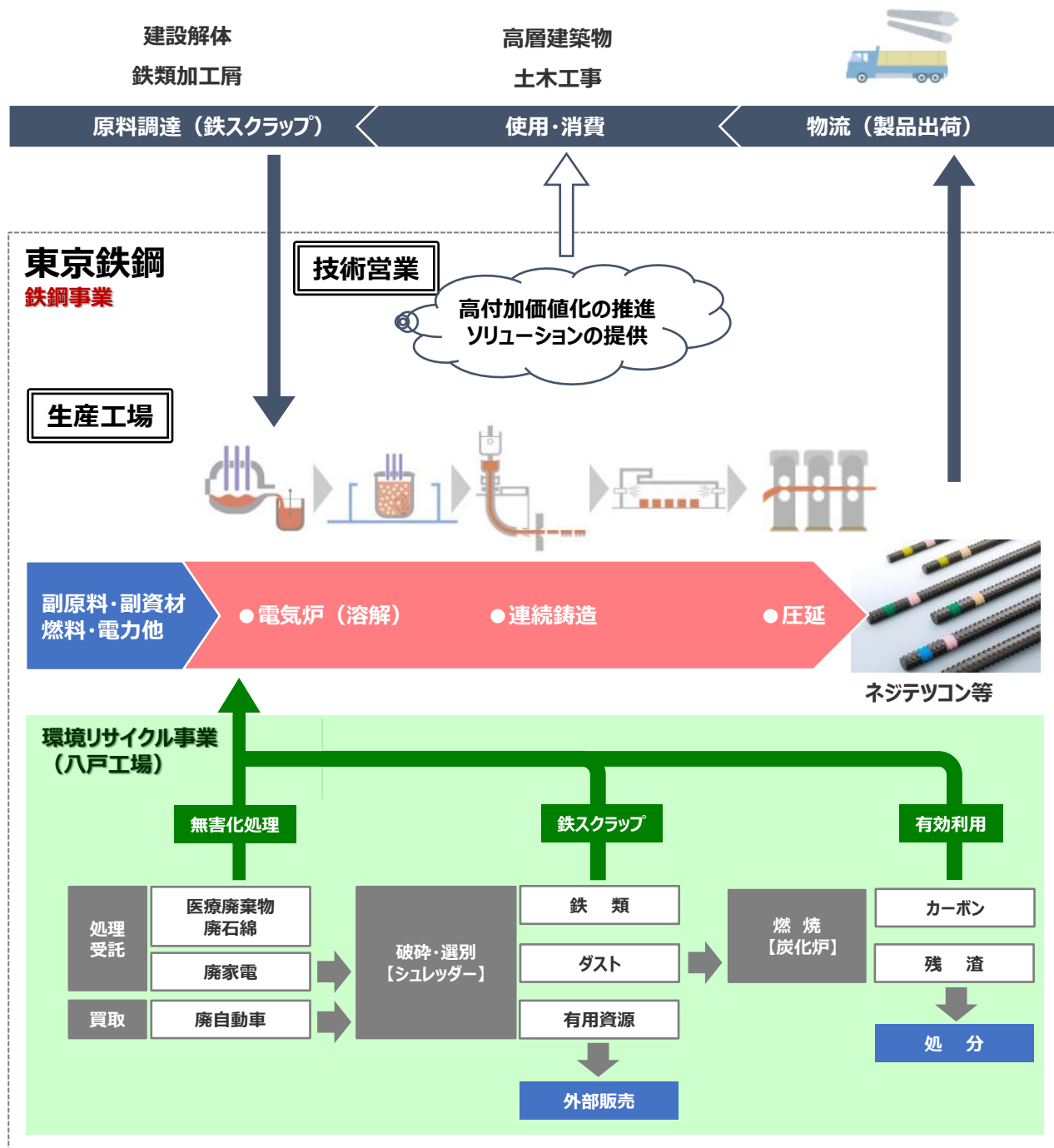
さらに、2018年から高度な技術を用いた低濃度PCB廃棄物の無害化処理事業を開始しました。



## (7) バリューチェーン

建設解体現場や各種工場から回収される鉄スクラップを主原料に用いて、鉄筋コンクリート用棒鋼を製造し、『鉄資源リサイクル事業』を担う企業としての役割を果たしています。

さらに、八戸工場では電気炉をフル活用し、産業廃棄物の無害化処理及び再資源化を行っています。





## (8) リスクと機会と当社の目指す姿

東京鉄鋼は当社を取り巻く事業環境と企業価値を高めて行くための方針をステークホルダーの皆様にご理解いただくために、『中長期経営方針』を策定しました。

### 当社の目指す姿

- 1 市況変動に左右されない収益構造を確立**
  - 高付加価値化の推進
  - エンジニアリング分野の強化
- 2 ソリューションカンパニーへの進化**
  - 躯体工事の省力化・省人化ノウハウを強化育成
  - ソフト分野での差別化を追求
- 3 ROEを重視する経営ヘシフト**



### 機会とリスク

- 人口減による国内建設需要の減少
- 人手不足の深刻化
- 労務負担増加に伴う、工期短縮、省力化などのソリューション・ニーズの高まり
- 鉄スクラップ価格の価格変動
- 副原料、副資材、電力料の高騰

## 2. コーポレート・ガバナンス等の状況

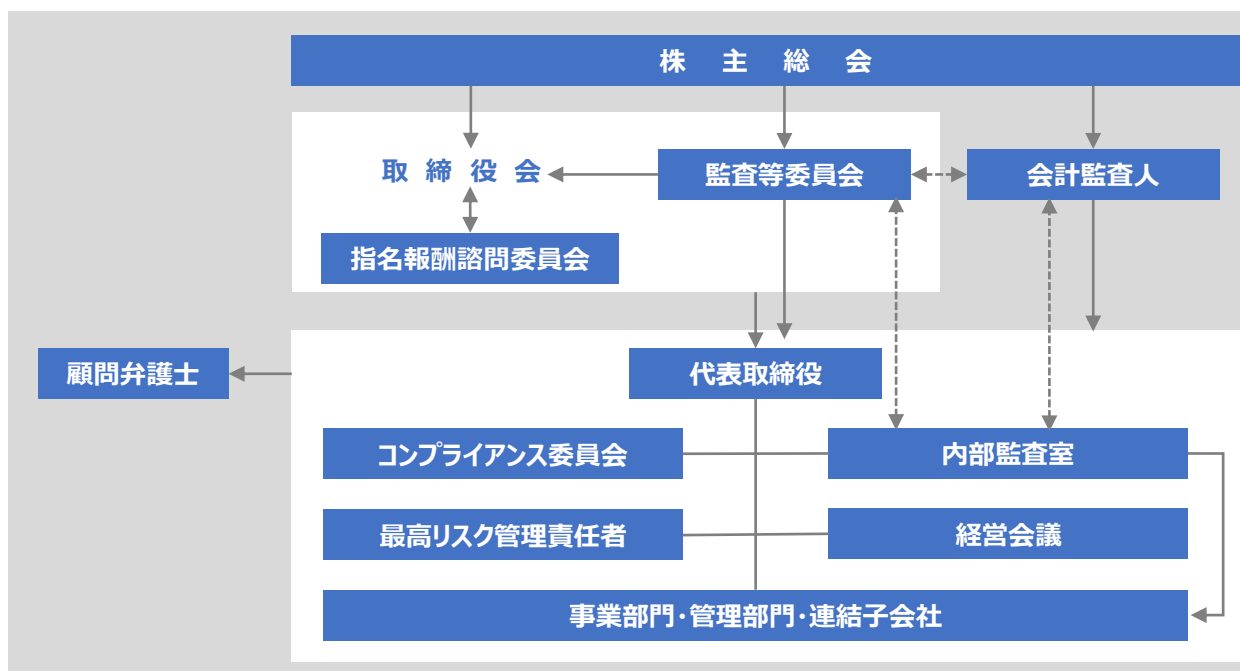
### (1) コーポレート・ガバナンス

東京鉄鋼は、株主・顧客・従業員・地域社会などのステークホルダーとの関係の中で、経営の健全性、透明性を確保し、企業価値を高めるためには、コーポレート・ガバナンスの充実が経営の重要課題と認識しています。

当社の意思決定機関である取締役会は11名の取締役で構成されており、うち5名が監査等委員である取締役です（2022年7月1日現在）。取締役会は原則毎月1回開催され、法令・定款に規定された事項及び経営上の重要事項の報告、審議、決議がなされております。

監査等委員会は原則毎月1回開催され、取締役の職務の執行の監査及び監査報告の作成、株主総会に提出する会計監査人の選解任・不再任に関する議案の内容等の決定を行います。なお、監査等委員である取締役5名のうち4名が社外取締役です（2022年7月1日現在）。

指名報酬諮問委員会は取締役会の決議によって選任された委員7名で構成されており、うち4名が独立社外取締役です。取締役及び執行役員の選任・解任に関する事項、取締役及び執行役員の個人別の報酬に関する事項等について審議し、取締役会に対して答申・助言を行うこととしております。



---

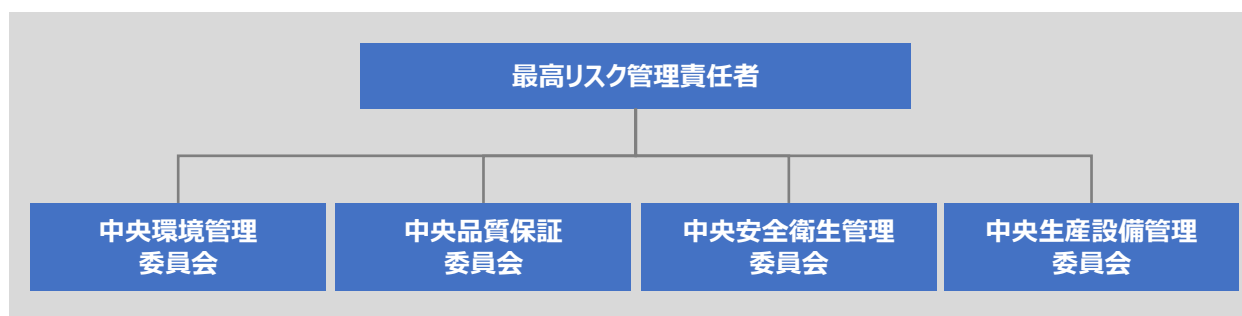
経営会議は、取締役、執行役員、各部門長で構成され、取締役会への付議事項、経営執行に係る重要事項について報告、審議、決定する機関として、月に2回開催されております。

これらの企業統治の体制を採用する理由は、経営の効率化を高め、監査等委員会による取締役の業務執行の監督機能の強化を図り、企業価値向上を目指すため当該体制を採用しております。

## (2) リスク管理体制

---

最高リスク管理責任者のもとに、中央品質保証委員会、中央環境管理委員会、中央安全衛生管理委員会、中央生産設備管理委員会を設置し、重要なリスクと認識している品質、環境、安全、設備について管理体制を構築しております。



## 3. 環境への取り組み

### (1) 取組方針

東京鉄鋼は、ISO14001をグループ全体で取得し、保全活動を推進しています。

#### 基本理念

東京鉄鋼グループは、鉄資源のリサイクルを通じて社会に貢献するため、鉄製品の生産活動を中心に、原材料の供給から製品の納入、産業廃棄物処理といった一連の事業から生じる環境影響を的確に把握し、環境負荷低減活動を推進します。

リサイクル製品による社会貢献をグループ全体の使命と捉え、全従業員は「組織で仕事をする」「情報を共有化する」「環境のプロになる」を念頭に、安心・安全の信頼を頂ける企業を目指します。

#### 基本方針

1. 「環境マネジメントシステム」を統一システムとし、東京鉄鋼グループ全体の環境保全体系を形成するとともに登録事業所ごとに運用します。
2. 各事業所は、法規制はもとより県条例や地域協定を順守し、公害の発生防止に努めます。
3. 県や市で推進されている環境保全活動には、積極的に参画します。
4. 環境保全活動の運用状況は、定期的な内部環境監査と改善活動の運用報告によって監視し、定期的なシステム見直しと継続的改善を実施します。
5. 東京鉄鋼グループで働くすべての人が、環境保全活動を推進するにあたり、次の項目を優先的に実施します。
  - ① CO<sub>2</sub>削減のため、グループで取り決めた省エネ活動の実践。
  - ② 廃棄物削減のため、社内ルールに従い3 Rの実践。  
(減量化、再使用、再生利用)
  - ③ 環境汚染要因の把握と、特定業務の監視・測定。  
(産業廃棄物・化学物質・危険物・特定施設)
  - ④ 省資源化と環境負荷の低減に向けた改善提案の実践。

### (2) コミットメント

東京鉄鋼グループは、2030年のSDGs達成に向け、鉄のリサイクルを通じて社会に貢献していきます。

管理担当 柴田 隆夫



### (3) サステナビリティ・ビジョン

項目	関連のあるSDGsのゴール
<p><b>1. 持続可能な社会の実現</b> 建設解体現場や各種工場から発生する鉄スクラップを主原料に用いて鉄資源リサイクルを担う企業としての役割を果たします。</p>	
<p><b>2. 脱炭素社会の実現</b> 省エネルギー化を推進し、温室効果ガス排出量の低減に取り組みます。</p>	  
<p><b>3. 建設業の発展に寄与</b> ネジテツコン・継手などの高付加価値製品と工法によるソリューションの提供を通じて工期短縮や省力化を実現し建設業界に貢献します。</p>	  
<p><b>4. 環境リサイクルの推進</b> 廃自動車や廃家電、医療廃棄物などの資源リサイクルを行います。 非鉄資源の再利用化や発電事業など、循環型社会の構築に貢献します。</p>	  
<p><b>5. 働きやすい職場づくり</b> 多様な働き方に向けた職場環境の整備を行い、最善の職場を目指します。 作業環境の改善により、安全な職場を目指します。</p>	  
<p><b>6. 地域社会への貢献</b> 地域の社会貢献活動に積極的に参加します。 奨学金事業を推進します。</p>	 

# サステナビリティへの取り組み

## 建設業の発展

- 高付加価値製品の提供による建設業における省力化を支援
- 強靱なインフラ整備への寄与
- パートナーシップの奨励・推進

## 環境リサイクルの推進



- 廃家電の再商品化等の推進
- 電気炉を活用した高温溶融処理による産業廃棄物の無害化
- 再商品化率の達成
- アスベストの無害化処理（埋め立て軽減）  
処理困難物の受入れ検討

## 持続可能な社会の実現

- 廃棄物の再生利用による廃棄物の発生削減
- 製品ライフサイクルにおける化学物質や廃棄物の管理
- 持続可能性に関する情報開示

## 地域社会への貢献



- 奨学金事業の推進
- 社会貢献活動への参加
- (公益社団法人) 吉原育英会による奨学金の給付
- 小山第一工業団地「ゼロエミッション」活動に参画
- あおもりエコの環スマイルプロジェクトへの協賛
- はちのへクリーンパートナー制度への登録及びごみ収集活動の実施
- 使用済み切手の収集並びに寄付

## に寄与



- ・ 高強度品をラインナップ
- ・ 太径サイズをラインナップ
- ・ 公共工事等への採用に向けて「NETIS(新技術情報提供システム)」へ商品を登録
- ・ 主力製品「ネジテツコン」のOEM生産

## 脱炭素社会の実現



- ・ 温室効果ガス排出量の低減
  - ・ 2021年度実績は2013年度対比で27%削減
- ・ エネルギーミックスへの寄与
  - ・ デマンドレスポンスの実施による電力の供給不足への対応(2021年度：本社工場にて実施)
- ・ エネルギー効率の改善
- ・ 環境に配慮した技術の導入
  - ・ 省エネ技術の追求

## 会の実現



- 鉄スクラップを棒鋼（製品）に再生利用
- 環境上適正な化学物質や全ての廃棄物を管理
- 毎年、環境情報を取りまとめた環境報告書にて開示
- 環境ラベル「エコリーフ」の取得

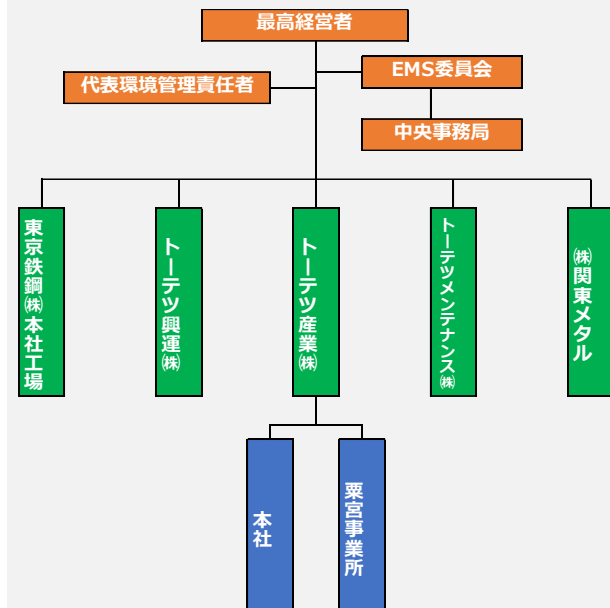
## 働きやすい環境づくり



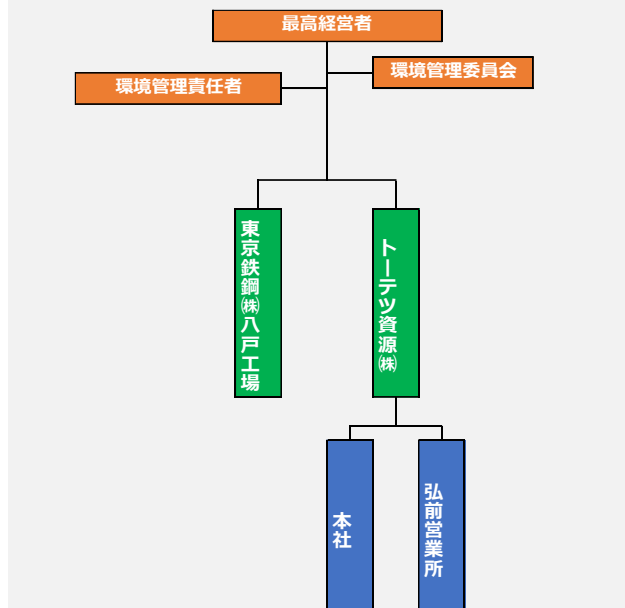
- ・ 作業環境及び職場環境の整備
  - ・ 作業環境測定と設備更新を含む環境改善の実施
  - ・ メンタルヘルスケアの外部リソース利用
- ・ ダイバーシティの推進
  - ・ ハラスメント防止に向けたルールや相談体制の整備
  - ・ 女性管理職の登用
- ・ 法令の遵守
  - ・ コンプライアンス研修の実施
  - ・ 従業員へコンプライアンスハンドブックを配布

## (4) 環境マネジメント体制

### <東京鉄鋼グループ 栃木県小山地区>



### <東京鉄鋼グループ 青森県八戸地区>



## (5) 環境マネジメントシステム

東京鉄鋼では、ISO14001（環境マネジメントシステム）を以下の通り認証を受け、随時認証の更新を行っています。

事業所	認証日	最終更新日
本社工場	2005/09/22	2022/08/29
八戸工場	2004/09/30	2022/09/30



## (6) 環境目標と実績

[評価基準 : ◎ = 100%以上、○ = 100%未満~80%以上、△ = 80%未満]

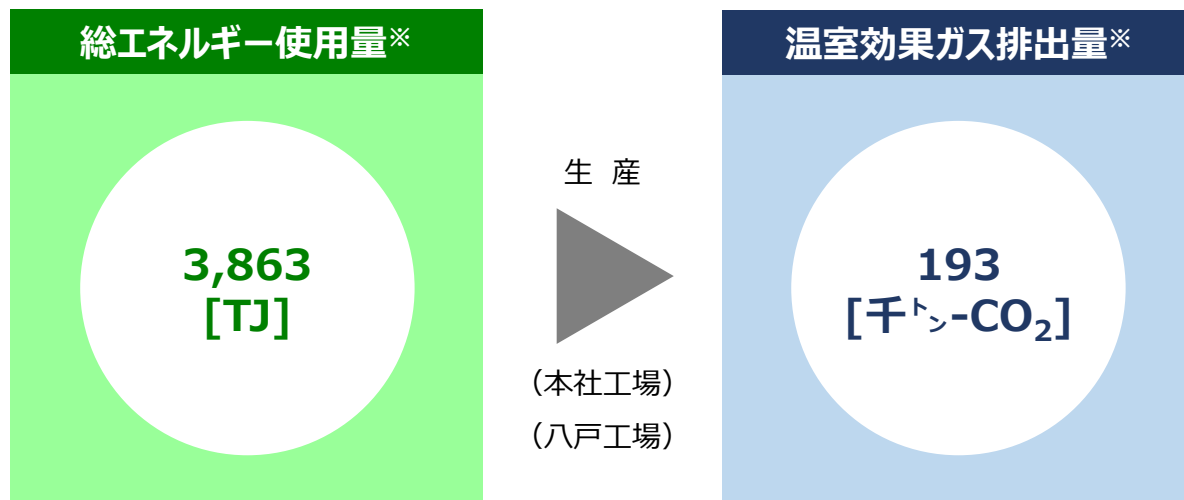
	環境項目	改善目標	実績評価
本社工場	省エネルギーによる天然資源の枯渇抑制及びCO <sub>2</sub> 排出量の低減	電力原単位低減による省エネルギー化	○
		LNG使用量低減によるCO <sub>2</sub> 低減と天然資源の枯渇抑制	○
		工場敷地内における使用電力の削減 (事務所、工場内外灯、スクラップヤード)	○
	廃棄物処理負荷の低減と 適正管理及び排出量抑制	PCB廃棄物の適正管理による漏洩防止	◎
		フロンガス使用機器の適正管理、運用実施	◎
		工場内資源の有効活用	◎
	天然資源の有効活用とリサイクル体制の強化	工程内不良の削減による不適合品発生抑制	○
		安定生産による余剰の減少	○
		事務効率化で天然資源の枯渇抑制	◎
	工場を取り巻く環境の整備 と作業環境の改善	工場内の緑地化(実施・推進)を推進し、地球温暖化抑制を実施する	◎
八戸工場	省エネルギーによる天然資源の枯渇抑制及びCO <sub>2</sub> 排出量の低減	電気炉電力原単位の低減	○
		加熱炉重油原単位の低減	○
		シュレッダー※ <sup>1</sup> 電力原単位の低減	◎
		圧延電力原単位の低減	○
		圧延ホット率向上	◎
		ボイラー燃料の低減(事務棟)	○
		炭化炉電力原単位の低減	◎
	天然資源の有効活用と リサイクル体制の強化	家電リサイクル率の向上(テレビ・薄型テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン)	◎
		各種合金鉄使用原単位の削減	○
		鉄源歩留改善による再生エネルギー資源使用量の低減	◎
工場を取り巻く環境の整備 と作業環境の改善	CO <sub>2</sub> 削減、敷地内環境整備	○	
	特別管理産業廃棄物保管による水質・土壌汚染の予防	○	
	ダスト飛散防止設備改善の推進	○	

注1) 原単位とは、製品の一定量を生産するのに必要な原材料や燃料などの数量のことを言います。  
例えば、当社の場合、粗鋼又は棒鋼1t生産するのに使用した電力量[kwh]を「電力原単位[kwh/t]」  
と言います。

※1 シュレッダー : 粉砕機

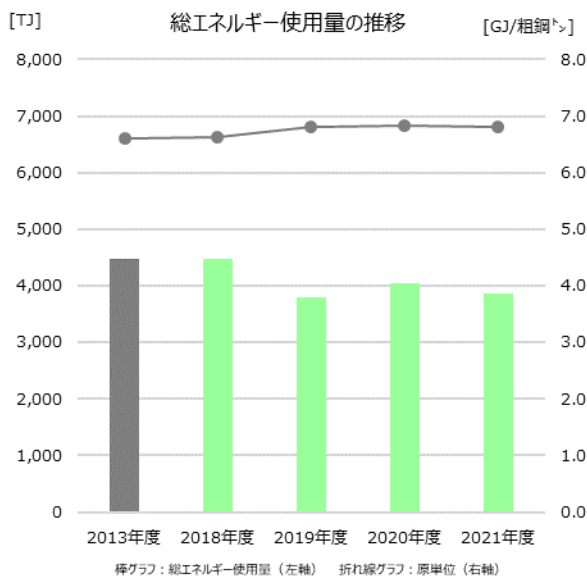
## (7) 主な実績評価指標

### 2021年度実績

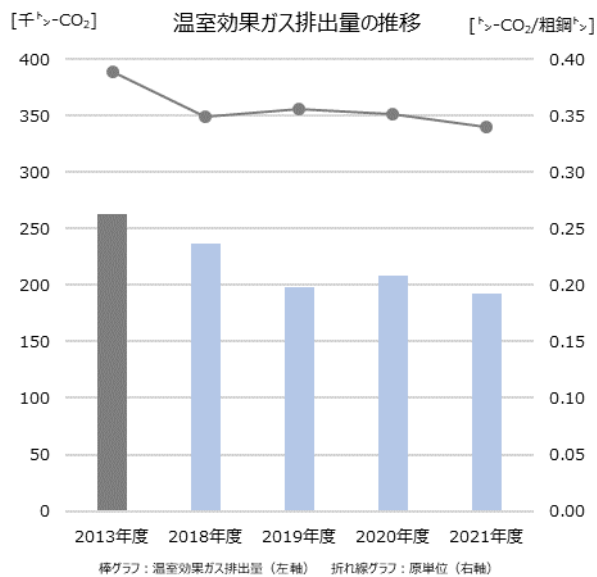


※総エネルギー使用量及び温室効果ガス排出量についてはスコープ1及び2が対象となっています。

- ・ スコープ1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)
  - ・ スコープ2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出
- また、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に沿って算定しています。



2021年度の総エネルギー使用量は2013年度に対して、14%減となりました。



2021年度の温室効果ガス排出量は2013年度に対して、27%減となりました。

## ご参考：その他の環境負荷に係るデータ

関連法令	項目	工場等	基準値	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
大気汚染防止法	ばいじん[g/m <sup>3</sup> ]	本社工場	電気炉	0.1	<0.001	<0.001	0.001	0.002	<0.001
			加熱炉	0.2	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
		八戸工場	電気炉(直引)	0.06	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001
			加熱炉	0.07	0.011	0.012	0.009	0.006	0.007
			炭化炉	0.04	0.004	0.001	0.002	<0.001	<0.001
	ダイオキシン[ng-TEQ/m <sup>3</sup> ]	本社工場	電気炉	5	0.27	0.11	0.031	0.013	0.046
			八戸工場	電気炉(直引)	5	0.037	0.026	0.00001	0.012
			炭化炉	0.7	0.0065	0.044	0.078	0.18	0.042
	Sox [ppm]	本社工場	加熱炉	-	<4.6	<4.6	<4.7	<4.7	<4.5
			八戸工場	加熱炉	760	294	263	190	307
	Sox [Nm <sup>3</sup> /h]	八戸工場	炭化炉	4.3	0.45	0.41	0.32	0.28	0.61
NOx [ppm]	本社工場	加熱炉	130	26	25	28	28	29	
		八戸工場	電気炉(直引)	30	13	6	13	9	2
	八戸工場	加熱炉	130	81	50	96	77	57	
		炭化炉	100	47	55	77	54	48	
水質汚濁防止法	PH[pH]	本社工場	5.8~8.6	7.1	7.1	7.3	7.3	7.4	
		八戸工場	5.8~8.6	8.1	8.0	8.2	7.7	7.8	
	SS[mg/L] (浮遊物質量)	本社工場	40	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	
		八戸工場	40	2.0	1.0	<1.0	<1.0	<1	
	BOD[mg/L] (生物化学的酸素要求量)	本社工場	20	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	4	
		八戸工場	30	1.6	1	3	<0.5	2.6	
	ノルマルヘキサン[mg/L]	本社工場	5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	
		八戸工場	5	<1	<1	<1	<1	<1	

項目	工場等	分類	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
特定化学物質	ダイオキシン類[mg-TEQ/年]	本社工場	排出量	680	280	40	30	120
		八戸工場	排出量	90	80	10	30	60
	移動量		190	100	80	140	70	
	マンガン及びその化合物[t/年]	本社工場	移動量	330	370	310	320	310
八戸工場		移動量	250	260	190	180	200	
廃棄物等	特管ばいじん[t/年]	本社工場	排出量	7,997	9,079	7,822	8,722	8,035
		八戸工場	排出量	5,135	4,792	3,900	4,387	3,765
	鉱さい[t/年]	本社工場	排出量	32,723	36,878	31,129	32,138	30,850
		八戸工場	排出量	25,474	30,495	19,155	18,237	19,634
	廃油[t/年]	本社工場	排出量	105	135	155	145	132
		八戸工場	排出量	11.9	5.5	8.8	1.5	1.4
	汚泥[t/年]	本社工場	排出量	906	845	882	974	758
		八戸工場	排出量	170	132	81	124	54

## ■ 環境製品宣言の取得

東京鉄鋼では主力製品である「ネジテツコン」について、2018年6月に（一社）産業環境管理協会が認証する環境ラベル「エコリーフ」を取得しました。「エコリーフ」は、ライフサイクルアセスメント手法を用いて、資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの製品の全ライフサイクルにわたる環境情報を開示する環境ラベル（EPD）です。

東京鉄鋼は環境情報開示することで社会貢献に果たして参ります。



**エコリーフ**  
タイプⅢ環境宣言（EPD）  
登録番号：JR-AJ-18001E

**JEMAI環境ラベルプログラム**  
一般社団法人産業環境管理協会  
東京都千代田区新富2-2-1  
https://www.jemai-label.jp



**エコリーフ**  
タイプⅢ環境宣言（EPD）  
登録番号：JR-AJ-18001E

**JEMAI環境ラベルプログラム**  
一般社団法人産業環境管理協会  
東京都千代田区新富2-2-1  
https://www.jemai-label.jp



**東京鉄鋼株式会社**  
(TOKYO TEKKO CO.,LTD.)



**ネジテツコン**  
(Neji-Tetsu-Con, Hot rolled threaded rebars)



<b>荷定単位</b>	1 t		
<b>荷定対象段階</b>	■ 中間材		
<b>製造段階</b> (原材料調達、原材料の輸送、製品の製造) および <b>間接影響</b>			
<b>製品の型式、主要仕様・諸元</b>	形状：ねじ筋 長さ：3.5m~13m 鋼種：SD295A,SD345,SD390,SD490,USD590 寸法及び質量：		
呼び名(サイズ)、単位質量(kg/m)			
呼び名	単位質量	呼び名	単位質量
D10	0.560	D22	3.04
D13	0.995	D25	3.98
D16	1.56	D29	5.04
D19	2.25	D32	6.73
		D35	7.51
		D38	8.95
		D41	10.5
		D51	15.9
主要生産サイト：本社工場、八戸工場			
<b>問い合わせ先</b>		東京鉄鋼株式会社 総合企画部企画課	
TEL: (03)5276-9702		http://www.tokyotekko.co.jp	
登録番号：JR-AJ-18001E			

① ライフサイクル影響評価結果			
			0% 20% 40% 60% 80% 100%
気候変動 (IPCC 2013 GWP 100a)	760	kg (CO2換算)	26% 11% 63%
酸性化	1.0	kg (SO2換算)	15% 27% 58%
光化学オキシダント	0.013	kg (CO換算)	17% 8% 79%
■ 【A1】 原材料採掘 ■ 【A2】 原材料の輸送 ■ 【A3】 製品の製造			
② ライフサイクルインベントリ分析関連情報			
項目	単位	合計	
気候変動 (IPCC 2013 GWP 100a)	kg-CO <sub>2</sub> eq	7.6E+02	1.9E+02 9.3E+01 4.8E+02
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	4.6E-07	1.6E-07 6.9E-10 3.0E-07
酸性化	kg-SO <sub>2</sub> eq	1.0E+00	1.5E-01 2.8E-01 5.8E-01
光化学オキシダント	kg-C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> eq	1.3E-02	2.2E-03 5.1E-04 9.9E-03
富栄養化	kg-PO <sub>4</sub> -P eq	5.7E-04	1.9E-07 5.9E-13 5.7E-04
③ 材料及び物種に関する構成成分			
項目	単位	合計	
鉄		96.8 <	%
カーボン		<0.4	%
シリコン		<1.0	%
マンガン		<1.8	%

**④ 算定結果に関する追加情報**

① 間接影響として、鉄鋼材料のリサイクル効果（鉄スクラップの環境負荷）を評価をして、上欄の表に記載した。間接影響分は、プラスの値として加算される。

② 輸送シナリオは、PCRに従った。

③ SD295A,SD345,SD390,SD490,USD590の5鋼種の平均値を表示した。



## (8) 環境負荷低減における取り組み

東京鉄鋼では、原単位の低減や省エネ設備の導入を推進しています。

### ■ 省エネ設備の導入

本社工場、八戸工場では、工場内の照明のLED化、高効率変圧器の更新により、年間消費電力の低減を図っています。



ハイウェイ灯のLED化（本社工場）



高効率変圧器への更新（本社工場）



天井照明のLED化（八戸工場）



## ■非鉄選別機の導入

八戸工場では、2022年9月にミックスメタル選別プラントを導入しました。当社が展開する環境リサイクル事業の一つでは、廃自動車や廃家電の廃棄物を破碎・分別して、銅、アルミ、基板等を資源回収しています。従来は回収した資源が混合状態でしたが、ミックスメタル選別プラントに投入することで素材ごとの分別が可能となり、マテリアルリサイクルに貢献しております。



非鉄選別機



## (8) 環境負荷低減における取り組み

東京鉄鋼では、原単位の低減や省エネ設備の導入を推進しています。

### ■改善への挑戦！Action 1 UP

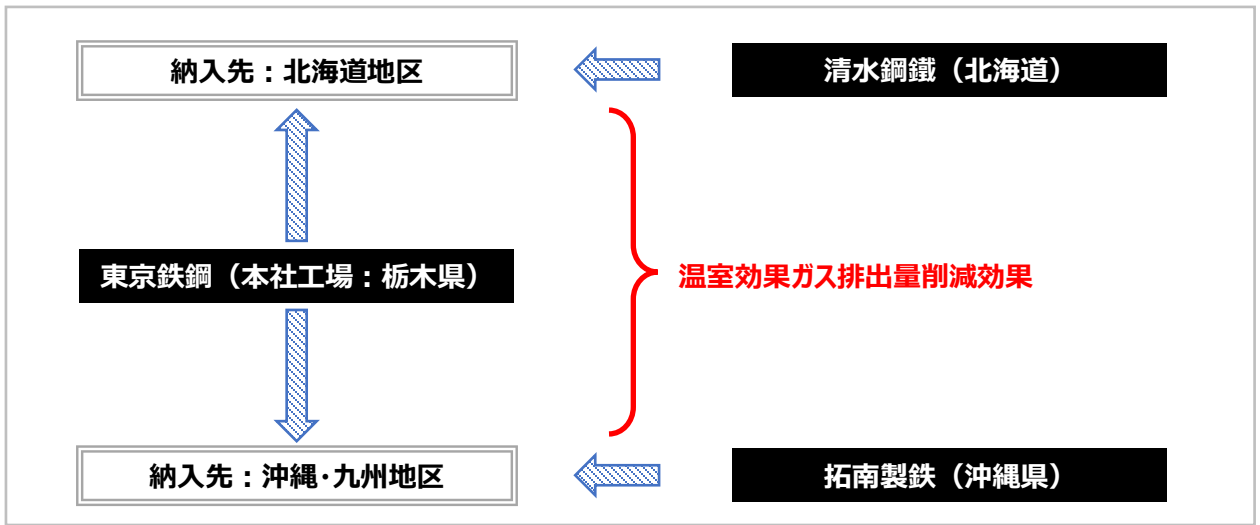
東京鉄鋼では、改善活動として『改善への挑戦！Action 1 UP』を全社で取り組んでおります。活動目的は「品質向上」、「業務効率化」、「生産性向上」などの省エネ活動が中心となります。活動テーマ数は、60件/半期ほど取り組んでおり、直近では“SDGs”を意識した活動などが増加してきております。



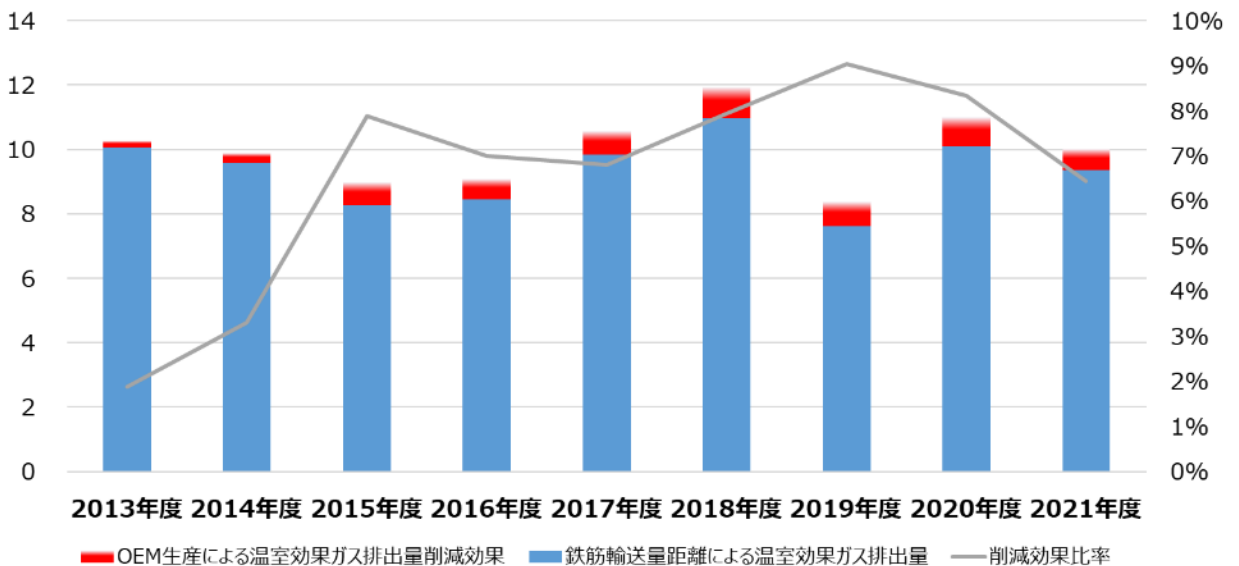
## ■ 鉄筋輸送量距離の低減による温室効果ガス排出量削減

東京鉄鋼は、全国に「ネジテツコン」を販売しています。

拓南製鉄株式会社や清水鋼鐵株式会社によるネジテツコンのOEM生産が開始したことにより、関東地区から九州・沖縄地区及び北海道地区への輸送距離を低減しています。



[千トン-CO2]



鉄筋輸送量距離による温室効果ガス排出量は、「貨物輸送事業者に行わせる貨物の輸送に係るエネルギーの使用量の算定の方法」に沿って算定しています。

OEM生産による温室効果ガス排出量削減効果は、OEM先からの出荷重量と東京鉄鋼から各地域へ出荷した場合の概算距離を輸送量とし、各種係数により推算した温室効果ガス排出量を使用しています。



## (9) 社会貢献活動

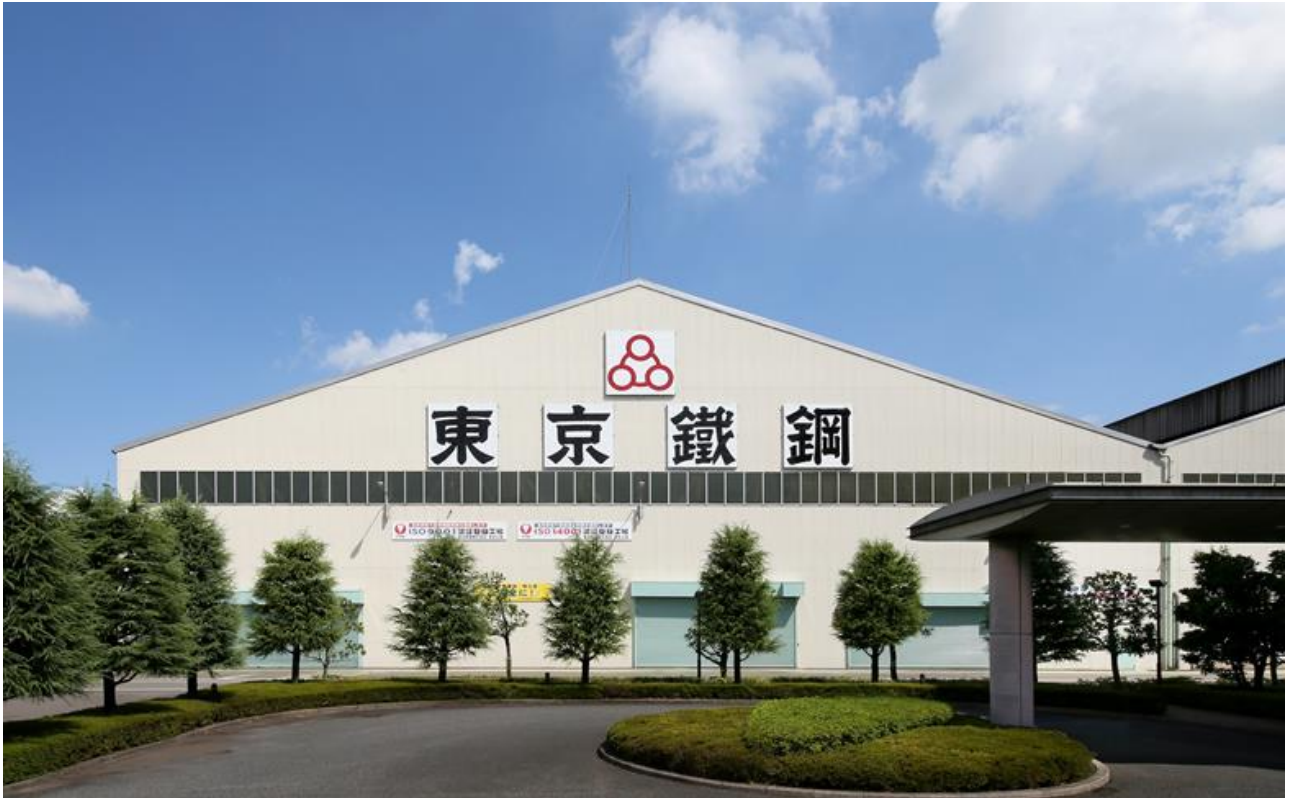
東京鉄鋼では、以下の取り組みを実行しています。

- 使用済み切手の収集並びに寄付に取り組んでいます。
- あおりECOにこオフィス・ショップ認定事業所に登録し、もったいない・あおりエコ事業所ショップとして活動を行っています。
- 『はちのへクリーンパートナー制度』へ登録し、ボランティアで公共施設の環境美化活動を実施しています。



八戸工場の周辺道路のごみ収集活動の様子





## 東京鉄鋼株式会社

---

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-7-2 ステージビルディング10階・11階・12階

TEL : 03-5276-9700 FAX : 03-5276-9711

<https://www.tokyotekko.co.jp>